

外来医療に係る医療提供体制の確保（外来医療計画）にかかる基本的考え方

1. 第7次医療計画における「外来医療に係る医療提供体制」の概要

(1) 策定時の課題

- 時間外の外来診療、在宅医療（訪問診療）、産業医、学校医は、地域の医師によって支えられているが、一般診療所医師は60代以上が約半数を占め、新規開業者の地域医療への協力が必要となっていた。
- また、地域間で診療所医師には偏在があり、豊能と大阪市が外来医師多数区域となっていた。

(2) 目的

- 医療関係者の地域医療に関する知識の向上、地域医療への協力の啓発を図り、地域医療に対する行動変容を促す。

(3) 主な取組

- ①新規開設者（一般診療所）に対する地域医療への協力依頼
（外来医師多数区域を含めたすべての二次医療圏で実施）
 - ・「地域医療への協力に関する意向書（在宅医療/休日夜間急患センターの出務/産業医活動/学校医活動/予防接種実施への協力等）」の提出依頼
- ②医療機器の新規購入・更新医療機関（一般診療所・病院）に対する地域医療への協力依頼
 - ・「医療機器の共同利用に関する意向書」の提出依頼

(4) 令和4年度における取組の評価

＜新規開設者：地域医療への協力に関する意向書提出状況＞

提出率 38.1%（183/480）、地域医療への協力意向ありの割合 33.3%（160/480）

＜医療機器新規購入者などへの協力に関する意向書提出状況＞

提出率 50.0%（51/102）、地域医療への協力意向ありの割合 40.2%（41/102）

2. 第8次医療計画における「外来医療に係る医療提供体制」の基本的考え方

【外来医師偏在指標】

- 「外来医師偏在指標」を更新し、一般診療所勤務医師の偏在状況を改めて見える化。

区域	厚労省提供データ（暫定） （第8次医療計画）			参考 （現計画）	
	外来医師 偏在指標	全国 順位 ^{※1}	区分 ^{※2}	外来医師 偏在指標	区分 ^{※2}
全国	112.2	—	—	106.3	—
大阪府	123.6	10	—	—	—
豊能	118.8	64	外来医師多数区域	112.3	外来医師多数区域
三島	105.4	133		100.2	
北河内	105.6	132		101	
中河内	107.7	112	外来医師多数区域	103.9	
南河内	107.1	118		102.7	
堺市	111.8	95	外来医師多数区域	101.2	
泉州	107.2	117		100.7	
大阪市	147.3	9	外来医師多数区域	138.3	外来医師多数区域

※1：大阪府は47都道府県における順位、二次医療圏は335医療圏における順位

※2：全国順位上位33.3%の二次医療圏を外来医師多数区域として区分

【外来医療にかかる実態調査の実施】

○現行計画策定時と同様、「大阪府医師確保計画及び外来医療計画の策定のための実態調査」を実施し、外来医療提供体制の現状をより詳細に把握し、計画をとりまとめる。

【地域医療への協力に関する意向書（診療所開設者）】

○提出の対象となっている新規開設者（一般診療所）に加え、既存の診療所開設者に対しても、地域での協議を踏まえ、提出の働きかけを検討。

【医療機器の共同利用】

○協議の場でとりまとめた状況の公表について内容の充実を図り、医療関係者等への周知の改善を図る。

【紹介受診重点医療機関（外来医療を提供する基幹的な役割を担う意向を有する病院又は診療所）】

○各二次医療圏の保健医療協議会における「紹介受診重点医療機関」の選定結果をとりまとめ、外来機能の明確化・連携を進める。

3. 第8次医療計画における「外来医療に係る医療提供体制」の構成（案）

※下線部：現計画からの主な変更追記箇所

第1節 外来医療と医療提供体制

- 医療提供体制の概要と医療サービスの種類
- 医療資源を重点的に活用する外来を地域で基幹的に担う「紹介受診重点医療機関」

第2節 一般診療所を取り巻く現状と課題

- 一般診療所の状況、一般診療所医師の偏在状況
 - ・外来医師偏在指標と外来医師多数区域の設定
- 外来医療機能等にかかる状況
 - ・一般診療所を取り巻く地域医療の状況、年齢別医師の状況

第3節 医療機器を取り巻く現状と課題

- 医療機器の配置状況、医療機器別共同利用の希望

第4節 外来医療にかかる施策の方向

- 外来医療機能を「見える化した情報」の医療関係者への周知
- 新規開設者等に地域医療への協力の啓発
- 紹介受診重点医療機関の選定
- 医療機器新規購入者等への地域医療協力の啓発